



TOKYO
ROPPONGI
ROTARY CLUB



Weekly Report

Enjoy 例会 ! Enjoy 奉仕 ! Enjoy Rotary !

東京六本木ロータリークラブ会長

平成30年5月21日発行 第563号

2017・2018年度 No.37

本日のプログラム

平成30年5月21日
卓話『注目！今がトレンドの「日本ワイン」』
ワインアンドワインカルチャー（株）
代表取締役 田辺 由美様
場所 グランドハイアット東京

プロフィール

北海道池田町出身。「十勝ワインの生みの親」丸谷金保を父に持つ。主宰する「田辺由美のWINE SCHOOL」は25周年を迎えた。日本にワイン文化を定着させた功績が認められ、2009年フランス政府より農事功労賞を授与。2011年一般社団法人ワインアンドスピリッツ文化協会を設立し、2014年から女性によるワイン審査会 Japan Women's Wine Awards を主催する。2015年北海道道庁主催「道産ワインブランド化強化事業・ワインアカデミー」の名誉校長を拝命。同年12月日本ソムリエ協会より「名誉ソムリエ」に任命される。亡き父親の意思を継ぎワイン造りにチャレンジした体験を綴った「～十勝の宝石～ 由美ちゃんワイン造るの？」(飛鳥出版)を2016年6月上梓。

渡辺会長挨拶

みなさん、こんにちは！

先週後半は、初夏を思わせる大変良い天気でした。また昨日は冷たい雨と、めまぐるしく変わる春の天気です。今週は、ウィークデーは概ね晴れで、気温も夏日を観測するとか、週末は、またお天気が勝れないようです。寒暖差に体調管理が難しいこの時期ですが、くれぐれもご自愛くださいませ。

さて、先週のロータリー活動では、2つのご報告を致します。

まず、5月9日火曜日に、京浜グループのIMが、太田産業プラザで開催されました。京浜グループと言うのは、羽田、品川、大森、大井田園調布、白金、高輪方面のロータリーで、どのクラブも女性比率が大変少なく、私達、山の手東グループのような華やかさが、会場にはございませんでしたが、記念講演に、2510地区のバスターガバナーで、札幌東ロータリークラブの会員の塚原さんと言う方をお招きし「ロータリーってなに？」の講演を聞く機会を得ました。1時間半の講演頂きましたが、ロータリーの原点やその魅力について、思いがけず、考える機会となりました。ロータリーは、例会こそが大切で、そこで、異業種の知恵を知る、「等質と異質の出会い」は、爆発的な自己改善効果を生む、これを「切磋琢磨」と言う。職業の違いは人生の違い、毎回の例会で異業種の知恵を学ぶ。職業奉仕とは、「親身になること」「クラブ奉仕」とは、「親身になって友情溢れた関係をつくること」そんな言葉が心に残りました。

5月11日金曜日は、ガバナー事務所、「地域社会奉仕の集い」が地区の地域社会奉仕の委員会主催で開催されました。先に開催されました「奉仕の集い」について参加しての感想発表や、地域奉仕あるいは国際奉仕についての活動をご報告して参りました。他クラブの奉仕活動についての情報共有ができる良い機会だと思います。来年も開催される「奉仕のつどい」には、クラブからは是非、当年度会長幹事のみならず次年度の会長幹事、また社会奉仕委員会、入会4～5年の方には是非参加頂きたいとのことでした。

最後に、キングス・カレッジ・ロンドンへ留学中のクローバル奨学生、中谷菜美さんから、3月4月の留学報告が参りました。ロンドンの気候も、乱高下激しく、10度を切る冬の日があったかと思うと、27度の夏日になると。ただしこれがロンドンの気候のようだとありました。授業の報告では、菜美さんの進路でもあります、子供保護についての授業が始まったことが書かれております。授業を通しての彼女の考え方がしっかり書かれております、今週号の週報に掲載いたしますので、是非お読みください。ロータリークラブとの関わりでは、クラブで卓話の機会があったこと。カウンセラーご夫妻の奥さんが、オックスフォード大学の生涯学習のコースの終了式に、菜美さんも一緒に出席し、学ぶ熱意と、又それが可能な環境に感銘を受けたと書いてあります。また、菜美さんのご家族が留学先に訪ね、久しぶりに再開したと喜びのご報告も添えてありました。ビデオレターも送って頂きましたので、次回ご報告したいと思います。

(記:渡辺会長)

幹事報告

1. 国際ロータリー第2750地区「青少年奉仕インターンシップ事業10周年記念式典」開催のご案内（再）
東京都教育委員会と国際ロータリー第2750地区との協定事業でありますインターンシップ事業も、昨年度10周年を迎える事が出来ました。生徒の職場体験の発表を行いますのでご友人、ご家族共々ご出席下さいますようお願い申し上げます。
都庁のホール見学も出来ます。

日時: 2018年6月14日(木)
登録開始 14:40～
記念式典 15:20～17:00
場所: 東京都庁・第一本庁舎5階大ホール 東京都新宿区西新宿2丁目8-1
登録料: 1,000円

5月25日(金)までに登録期限を伸ばしましたので多くの方のご参加をお待ちしております。

2. 最終夜間例会のご案内（片岡親睦委員長代理）
6月18日月曜日、18:30より東京グランドハイアットホテルで今年度最終例会が開催されます。お誘い合わせの上ふるってご参加ください。

以上

(記:安部幹事)

各委員会報告

青少年奉仕委員会報告

3年前に私共でお引き受けした留学生のアーティーさんからメールを頂きました。

昨年5月に高校を卒業しピッツバーグ大学に通っていましたが日本への想いが捨てられず、今年2月に早稲田大学を目指し、この度見事合格しました。今年の9月より1年生として通われるそうです。

学業が落ち着いた頃を見計らって例会に顔を出してもらおうと思っております。

(記:三田青少年奉仕委員会副委員長)

社会奉仕委員会報告

本年度のRIライズリー会長の呼びかけで各クラブにおいて植樹が推奨されていますが、当クラブにおきましては皆様から寄付を募り六本木ヒルズの屋上庭園に桜（ヤエベニシダレ）を1本植樹しました。

5月14日の例会後、希望者を募り森 社会奉仕委員会委員長の案内で屋上庭園の植樹を見学してきました。

屋上庭園の場所は六本木ヒルズのTOHOシネマズの建物の上、地上45メートルのところにありますが、六本木ヒルズの中心にまさかこのような場所があるとは想像もしていませんでした。水田を備えた現代風日本庭園にはメダカやカエルも生息しており、風に揺られて樹々が奏でるさわやかな音に遠く他の場所にいるような気分になりました。植樹した桜がそのような場所で健やかに育つと思うと、桜がうらやましいとも思いました。皆様とともに成長を見守りたいと思います。

なお、寄付の総額は18万円になりました。皆様のご協力、誠にありがとうございました。



(記:谷口社会奉仕副委員長)

ロンドンに留学している中谷さんより、留学報告書が届きました。ご一読ください。

キングス・カレッジ・ロンドン 留学報告書

第7号 2018年3・4月
2017-2018年度グローバル補助金奨学生 中谷菜美



- 留学先
キングス・カレッジ・ロンドン
International Child Studies 修士課程
- スポンサークラブ
東京六本木ロータリークラブ
- ホストクラブ
エッジウェア・スタンモア
(Edgware and Stanmore) ロータリークラブ

目次

- 01. 履修内容・学校生活
- 02. ロータリークラブの方々の日々
- 03. 重点分野との関わり

01. 履修内容・学校生活

子どもの保護の実現には包括的な支援が必要

私が一番心待ちにしていた、子どもの保護の授業が始まりました。身体的虐待、心理的虐待、性的虐待、ネグレクトのそれぞれの虐待の現状や子どもに及ぼす影響、予防・対応方法、代替ケアなどを中心に、子ども保護に関わる分野について学びました。これまで、子どもの権利、子どもの健康と発達などの視点を学んだ上で子どもの保護を学ぶと、子どもが守られ最大限の力を発揮できるよう発達していくには、それら全ての要素が必要なのだとということが実感でき、これまでの学びが繋がってきている感覚です。

若年層の妊娠と児童婚の問題

3月に行ったプレゼンテーションとエッセイでは、それぞれ若年層の妊娠と、児童婚の問題を取り扱いました。この2つのテーマは似ていますが、前者は先進国を含む多くの国で課題となっており、後者は南アジアやアフリカなどの国で対策が急がれています。若年層の妊娠について学び印象的だったのは、例えば学生の妊娠や、シングルマザーに対して否定的な社会の風潮が彼らをさらに孤立化させリスクを高めているとの主張でした。イギリスでは、妊娠した学生が支援を受け、子どもを育てながら通学できる仕組みなどがある



3月、4月になるとイギリスの至る所で黄色の水仙が咲き乱れます。



5/19のヘンリー王子のロイヤルウエディングに向けて盛り上がるイギリス。街中にこんなお面も・・・！

※画像をクリックするとPDFが開きます。

(株) RIZeST 代表取締役 古澤 明仁様

私はeスポーツと出会う前にパソコンの周辺機器メーカーに勤めており、その時に、eスポーツ向けのマウス、キーボード、ヘッドセットを扱うビジネスに携わっておりました。右も左も分からない状況でeスポーツの業界に飛び込んだのは2013年の春です。ネットカフェなどに毎週末ファンが集まって、いろいろなゲームの大会が行われていますので、私は製品を携えてお客様と一緒に参加しました。ある時に千葉県のネットカフェでゲーム大会をしたのですが、この時初めて「eスポーツって凄いな、可能性があるな」と感じました。その時、小さな部屋の中には20名程しかいなかったのですが、インターネットを通じて戦いの模様を見守ってくれるお客様が約1500名もいたのです。今このIT社会の中で、必ずしもその会場にいらなくても、スマートフォンやパソコンやタブレットを通じてまるでそこにいるかのような臨場感を体験できるといったところも、eスポーツの魅力なのかなと気づきました。



そして2013年に20人程しか集まらなかったeスポーツのイベントは、たった数年で2017年夏には幕張メッセで4000人の会場規模で行われ、数日でチケットがソールドアウトし、インターネットを通じて20万人以上がこの大会を見守りました。

eスポーツをプレイしている人を見ているファンの数というのは2017年末時点で、世界で3億8500万人います。東京オリンピックが開催される2020年には、6億人に達する勢いです。ゲームはもはやニッチなものではなく、eスポーツというのは世界で楽しまれているスポーツジャンルであるといったことが申し上げられると思います。

皆さんの中にはゲームってそもそもスポーツなのか、とお考えの方が非常に多いかと思いますが、日本におけるスポーツの解釈と欧米諸国におけるスポーツの解釈というのは、大きく異なっているのです。これが認知の大きな乖離を生んでいると考えておまして、欧米だと「スポーツ」= (イコール) 「競技性を持ったもの」であり、必ずしも身体を動かすものだけではなく、チェスなどのマインドスポーツといわれるものもスポーツとして捉えられています。そもそもスポーツは、狩猟社会のときには格闘技などの身体系の競技、農耕社会になるとフィールド競技、更には工業社会ではモータースポーツが生まれ、そして現代、情報社会ではeスポーツという風に歴史的、社会的な変化に合わせて新たなものが生まれてきております。eスポーツが現代の情報社会における、最先端のスポーツであるということは、歴史的な背景から見ても全く不思議なものではないと私は考えております。今年2月に冬季オリンピックが開催された平昌でeスポーツの大会が行われました。eスポーツは身体的な能力や年齢は一切関係ありません。その大会で優勝したのが24歳のカナダ人の女性でした。これはスポーツ業界にとって、大きな躍進であり、大きな発見であると思います。eスポーツは国籍、人種、言語、宗教、性別といった違いとされるものを全て超越したスポーツなのです。

今、様々な企業がeスポーツ業界に参入してきております。その理由のひとつとして、eスポーツはプレイをメインにする方の8割が35歳以下、男女比は7:3です。観戦をメインにする方は、35歳以下が72パーセントで男女比は6:4です。現在テレビ離れですとか、若者の関心が多様化していますので、若者に人気があるeスポーツというジャンルにアプローチするために様々な企業が投資し、参入しています。

事実、ヨーロッパのサッカークラブチームの多くがeスポーツのチームを発足しています。アメリカのバスケットボールのNBAのチームもeスポーツのチームを持っています。国内でもeJリーグという、サッカーゲームの大会も行われています。

教育分野では、アメリカだけではなく、アジア諸国そしてヨーロッパでeスポーツの大学、専門学科も出来ております。最近ですと中国の名門大学である北京大学もeスポーツ学科を設立しました。日本も2016年にeスポーツの専門学校ができました。

ようやく国内でもeスポーツの統合団体として、日本eスポーツ連合、「JeSU」という団体が発足しました。eスポーツの普及、発展、産業の振興を目的にした団体です。こちらの団体は、主に経済産業省から大きな支援をいただいております。そしてこの団体が向こう数年力を入れていく事業が、eスポーツプロライセンスの発行、高額賞金の付与、そしてJOC（日本オリンピック委員会）への加盟というのも水面下で目指しております。

今年アジア競技大会がジャカルタで開催されますが、そこでもeスポーツがデモンストレーションとして行われる予定です。そして2020年東京オリンピックでも文化啓蒙の座組みとしてeスポーツを取り上げていこうと準備を進めています。2022年の次回のアジア競技大会では正式なメダル種目になりました。2024年の夏季オリンピックでメダル競技にしたいと、IOCと協議をしている最中であります。

東京オリンピックが開催される2020年というのが日本にとって、大きな産業の起爆剤になるであろうといったことは皆さんご承知の通りだとは思いますが、2020年がeスポーツのパラダイムシフトの年でもあり、オリンピックだけでなく、5Gネットワークのような新たな国を挙げての産業とのコラボレーション、IOTのようなテクノロジーもeスポーツ

との相性は非常に良いので、文化的な啓蒙だけでなく、経済的な発展もeスポーツから生まれてくるのではないのでしょうか。

是非皆さんにはeスポーツって盛り上がっているのだなと、一人でも多くの方にeスポーツの可能性について啓蒙いただき、機会がありましたら、eスポーツのビジネス、社会的な貢献についてお話する機会をいただければと思います。

ご清聴ありがとうございました。

会員卓話『認知症をぶっ飛ばせ！』

平成30年4月23日

秋津 壽男会員

認知症の原因はアミロイドβ タウ蛋白がたまるというが、、、
実は原因なのか結果なのかいまだにわかっていない。薬は本当に効くのかというと、実はあまり効果がない。せいぜい進行を遅らせるだけ。抑肝散という小児の癪の虫に使う漢方薬は、認知症の攻撃的な言動行動を押さえてくれる効果がある。

症状は匂い感覚の低下から始まる！？

物忘れと認知症の違いとは、物忘れはヒントがあったり、調べたりすれば思い出す。認知症は忘れていたことが自覚できない。検査法の代表は長谷川式認知スケール、サンプルを用意しました。

予防法は、脳血管性痴呆予防のため動脈硬化リスク（高血圧、糖尿、高脂血症、肥満、喫煙、飲酒、家系、年齢、ストレス）を減らすこと。

ほかに良いのはワインの香りをテイスティング、大きな犬を飼う、音読で脳を刺激などなど

普段から心掛けたいのは、大きな声で歌を歌うこと、好奇心を持って新しいことに挑戦すること、初対面の人と交わること、社会活動をいくつになっても続けること

つまりは毎週ロータリーの例会に出席することです！



慶事会員一覧

5月のお誕生日

5月17日	渡辺 美智子（わたなべ みちこ）さん
5月17日	小篠 ゆま（こしの ゆま）さん
5月23日	深田 宏（ふかだ ひろむ）さん



慶事会員の表彰

5月の慶事会員は 渡辺 美智子さん(17日)、小篠 ゆまさん (17日、欠席)、深田 宏さん(23日) の3名。歌と東京グランドハイアットホテルの利用券でお祝いしました。皆様おめでとうございます。

以上

(記:安部幹事)

ニコニコBOX情報

浅田 豊久さん

ようやく五月らしい空模様になって来ました。さわやかさわやか

森 佳子さん

今日は例会の後、皆様に植樹された桜の木を見に参ります。宜敷くお願い致します。

大橋 裕治さん

望月晴文様の卓話を楽しみに致しておりました。何卒よろしくお願い申し上げます。

齋藤 明子さん

寒暖の差が激しい日々。体調崩されませんように。

杉本 潤さん

望月様、本日の卓話、有難うございます。

宇佐見 千嘉さん

初夏のさわやかな日ざしが目にまぶしくなりました。望月晴文様本日の卓話をよろしくお願い申し上げます。

渡辺 美智子さん

さわやかな週明けとなりました。今週も宜しくお願い致します。望月晴文様、本日は卓話宜しくお願い致します。

山中 祥弘さん

望月様の卓話、楽しみにしていました。よろしくお願いします。

安井秀行さん

昨日の雨がうそのような初夏の天気では今日は気持ちもニコニコです。

劔物美紀子さん

六本木ロータリークラブ合唱団の有志の皆様が「シザーブル合唱団」として6/24(日)代々木上原のけやきホールでの私共の発表会に出て下さいます。大変楽しみでございます。

5月14日 合計 29,000円 累計 1,550,000円

5月14日のお食事



5月14日の例会出席率(暫定)

- 会員の例会出席数(出席率) 32名(71%)
- ゲスト・ビジターの参加者数 1名

※メーカーキャップを含めていない暫定の人数です。

次回のプログラム

平成30年5月28日

会員卓話『未定』

荻田 吉夫様

場所 グランドハイアット東京